

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

10・10五割決起 多彩な取り組みを展開

全支部で

10・10三里塚現地集会まであと5日。

動労千葉の全職場で、10・10五割動員にむけた様々な取り組みが連日展開されている。

中曽根内閣が侵略戦争にむけた軍事大国化、改憲の要として、三里塚二期着工、国鉄労働運動解体に総力をあげた攻撃をかけてきているとき、われわれは断固としてこれを阻止しなければならない。

どこまでも人民をコケにし「国策」をふりかざし、機動隊の暴力をさしむければ何でもできるとおごりたかぶっている反動中曽根が、ついに三里塚に連日六千名の機動隊をはりつけ、農民にあらん限りの暴虐をほしきつた国鉄当ブルトラーザーでふみつけにしているのだ。そして、動労「本部」革マルの裏切りに支えられて増長しきつた国鉄当局は、この10月、いよいよ公然と高令者への退職勧奨Ⅱ追い出しをはじめている。こんな理不尽な攻撃を黙っておれるか！ 今、黙っていれば、中曽根はどんどんつけあがり、われわれの権利を奪い尽し、クビを切り、生活を破壊し、あげくの果ては「お上の言うことにはあきらめて、何でも言うなりになる」ような国民にしたて、気がついたら戦争にかりだされてポロ切れのように殺され捨てられるのだ。黙っていれば暗黒の時代につき落される。まっぴらゴメンだ！ 多くの人民は怒りをつのらせ、反撃のチャンスをまつている。三里塚農民のように、動労千葉のように犠牲をおそれず起って非妥協・実力の闘いを貫けば未来をきり拓けることを感じはじめているのだ。思いっきりやってやろうではないか！ 人民の実力というものを目にも見せてやろうではないか。

10・10はその突破口であり、絶対に負けられない決戦だ。本部執行委員会では、10月3日執行委員会での確認をたずさえて、4日以降全支部に全担当執行委員を派遣し、10・10根こそぎ決起実現にむけ全力疾走体制に入った。全支部、全組合員一丸となっていま一步の奮闘に突入しよう。

目標突破に成功したぞ

館山支部・通信員発

館山支部は10月4日、本部から水野副委員長を迎えて執行委員会を開催し、10・10三里塚総決起にむけた最終的な意志一致をかちとった。

3・25を上まわる動員を何んとして実現するため、支部、青年部が一体となったオルグを行い、10・10当日の第二陣もつくり、目標を突破することに成功した。

残る数日間、全力をあげてやりぬく。

勤務以外全員参加を目標に奮闘中

銚子支部・通信員発

銚子支部は10月4日に本部の片岡執行委員を迎え、10・10にむけた最後の意志一致を行った。

支部組合員数は26名と、動労千葉Ⅱ支部中最小支部ではあるが、まともにはどの支部にも負けない銚子支部は、勤務以外のほぼ全員参加を確認している。宮崎支部長を先頭に断固闘う。

次の目標は六割突破だ

木更津支部・通信員発

木更津支部は10月3日、執行委員会を開催しました。

10・10は3・25の25名動員を上まわろうを合言葉に、青年部を中心に取り組んできました。

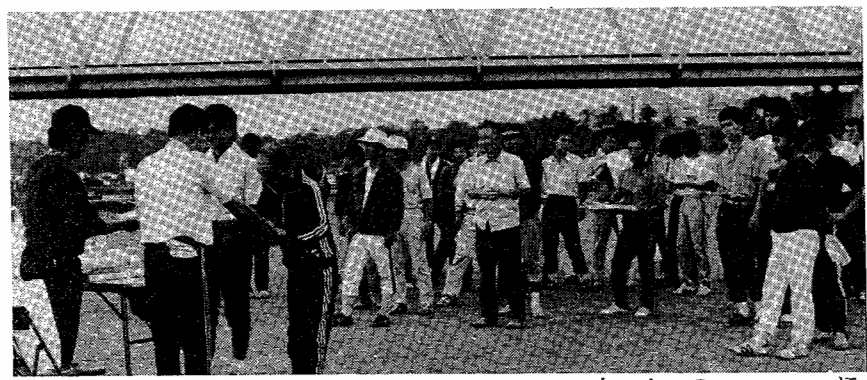
すでに3・25を大きく超える参加を確認し、六割を目標に頑張っています。

10・10三里塚へむけた団結ソフトボール大会を開催

新小岩支部・通信員発

新小岩支部は、10・10三里塚へむけて個人対話オルグを展開しているさ中の9月29日、10時より江戸川グラウンドにおいて、ソフトボール大会を開催しました。

当日は、支部各分科より52名もの参加を得て、乗務員3チーム、構内・検査・検修チーム、事務・技術・指導チームの計5チームに分けて、若林書記長の「この団結力を三里塚へ」の決意を受けて、開始されました。



秋の陽が降りそそぐ好天の中、珍プレー、好プレーが続ぎ、和気合々のうちに試合は進み、決勝戦は乗務員Cチームと構内・検査・検修チームの対戦となり、好試合を展開しましたが、打力に勝る乗務員Cチームが11対6で勝ち優勝しました。試合終了後、表彰式にうつり、ホームラン賞、珍プレー賞等を多数の選手が受け、今後さらに団結力を強めることを約して成功裡に終了しました。

この明るさ、団結力、戦闘力があれば負けやしない。
<表彰式での新小岩の仲間>

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！